

時間の感覚

事務を担当している自分にとって、1ヶ月で最も緊張する作業は介護保険請求処理です。

毎月10日が提出の締め切りなので、前月の25日頃から作業は始まります。15日頃に利用料の請求書・領収書を作成し終わると、次月の処理が始まるまでの10日間はほっと一息つける期間となります。



ところが、最近になってこの10日間のものがものすごく短く感じるようになってきました。スケジュールに変わりはないのになぜ？そうです、歳を重ねたからです。「歳をとると時間が経つのが早い」と、よく言われますが、正にこれです。

ちなみに年長者の方が年月の長さを短く感じるこの現象は「ジャンナーの法則」と呼ばれ、5歳の1日と50歳の10日が同じ感覚となり、体感的には20歳で人生の半分を終えていることになるそうです。



実年齢も人生の後半戦に突入した今、「1日1日を新鮮な気持ちを持ちながら、大切にしなければ」と実感したのでした。

(2017年6月)